



鎌ヶ谷市 市民活動紹介冊子

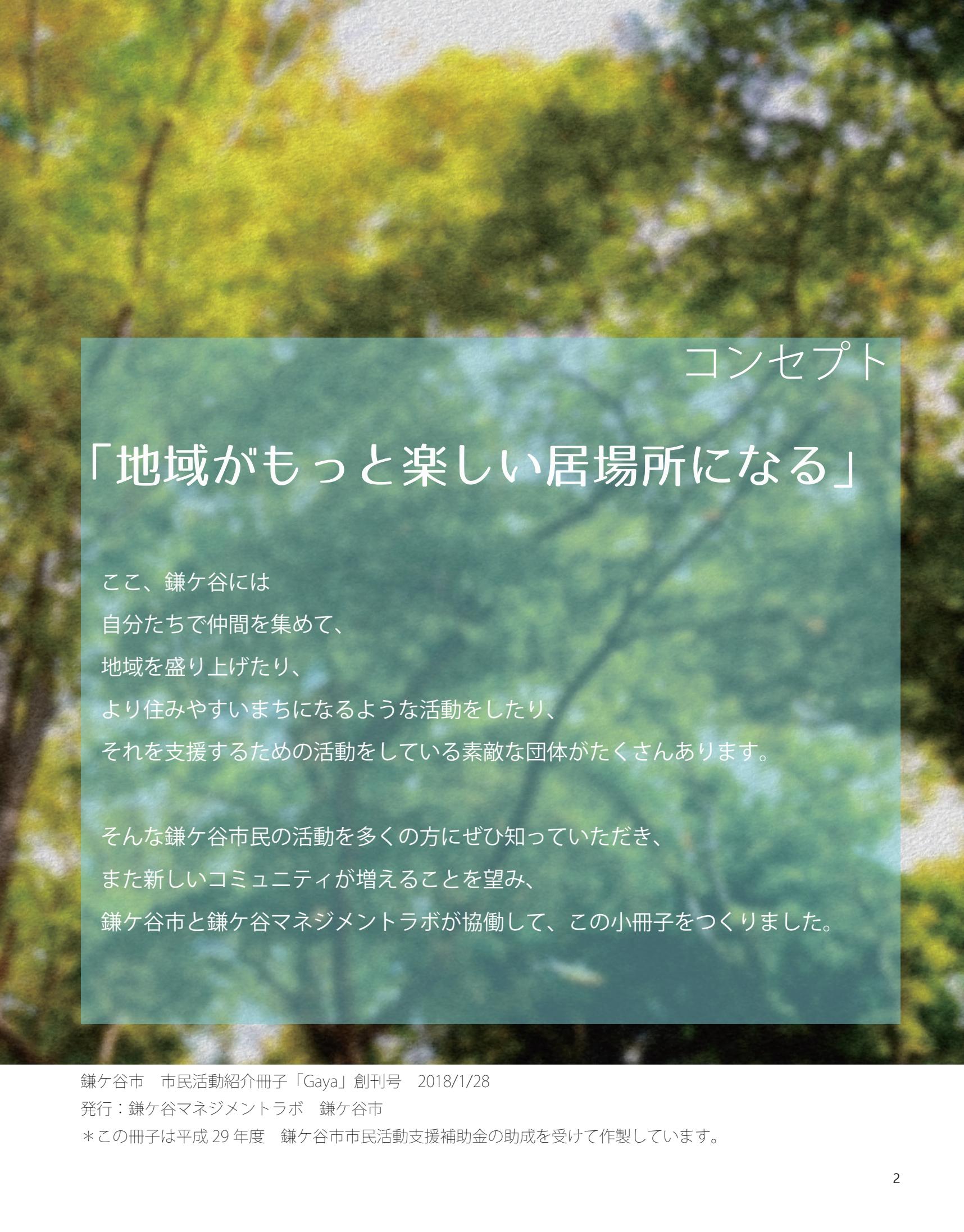
Take Free

創刊号



〈が や〉
Gaya.





コンセプト

「地域がもっと楽しい居場所になる」

ここ、鎌ヶ谷には
自分たちで仲間を集めて、
地域を盛り上げたり、
より住みやすいまちになるような活動をしたり、
それを支援するための活動をしている素敵な団体がたくさんあります。

そんな鎌ヶ谷市民の活動を多くの方にぜひ知っていただき、
また新しいコミュニティが増えることを望み、
鎌ヶ谷市と鎌ヶ谷マネジメントラボが協働して、この小冊子をつくりました。

鎌ヶ谷市 市民活動紹介冊子「Gaya」創刊号 2018/1/28

発行：鎌ヶ谷マネジメントラボ 鎌ヶ谷市

*この冊子は平成29年度 鎌ヶ谷市市民活動支援補助金の助成を受けて作製しています。

〈が や〉

Gaya.

コンテンツ

特集1 鎌ヶ谷市市民活動団体の紹介

鎌ヶ谷こどもだんらん食堂	4
エコネットかまがや	6
鎌ヶ谷市ペタンク協会	8
特定非営利活動法人 鎌ヶ谷たすけあいの会	10
ドランカーズ	12
シニア・ピア・なごみ	14
ぶらり鎌ヶ谷	16
一般社団法人 鎌ヶ谷青年会議所	18

特集2 身近な組織・施設の人々にインタビュー

鎌ヶ谷市の施設を利用してみよう！	20
南初富コミュニティセンター	21
鎌ヶ谷自治連合会	22
鎌ヶ谷市役所・市民活動推進課	23
コラム "人とのつながり" が生み出す鎌ヶ谷の可能性	24
かまラボがお手伝いできること	26
編集後記	27

◎記事を読み、団体のことをもっと知りたいと感じたら…

鎌ヶ谷市市民活動推進センターのホームページに「団体一覧」が掲載されています。そちらもご覧下さい。

鎌ヶ谷初の「子ども食堂」 鎌ヶ谷こどもだんらん食堂



幼い頃から世話好きだった御代川さん
真下段右から2番目)。

テレビで知った子ども時代の温かい食卓を思
い出します。

御代川さんの子ども時代の「温かい食卓」
という原体験からスタートした「鎌ヶ谷こど
もだんらん食堂」。初回の開催から2年が経
つ今では、なくてはならない子どもの「だん
らんの場」として地域に根付いています。



原体験は自身の子ども時代

幼い頃から世話好きだった御代川さんは看護師や指圧師という仕事を通して人が元気になるのが大好きだそうです。そんなある日、テレビで子ども食堂の特集を見ました。

その時、自分の子ども時代の風景が心に浮かんできたそうです。それは話をよく聞いてくれた優しい両親のもと、8人家族で囲んでいたワイワイガヤガヤと賑やかで温かい食卓でした。

子ども時代の食卓が今の自分を育んでもくれたということが大人になってよくわかり、だからこそ、子ども食堂は必要だとなどしみじみと感じた御代川さん。思わず言つた「やりたいな」という言葉に「手伝うよ」と言ってくれた5人の仲間と一緒に「鎌ヶ谷こどもだんらん食堂」を始めることにしました。

始めるまでの準備もたくさん

まず準備室を作つて動き始めました。関係機関に「子ども食堂を開きます」と挨拶に行つたり、既に始めている他所の

団体情報

鎌ヶ谷こどもだんらん食堂
代表：御代川 麻奈美
Tel : 050-5318-7996
Mail : info@kamadan.space
分類：任意団体
活動分野：保健・医療・福祉 /
まちづくり / 子ども
会費：お問い合わせ下さい



初期の食堂が今の礎に

「食事を多く作りすぎたり、メンバーの熱意の違いなどでもめることもありました。だからこそ、次のクリスマス会ではどうしたらしいのかと熟慮できた」と御代川さんは熱心に話してくれました。

子ども食堂へ見学に行つたりしました。話をしているうちに、実績が大切なんだとわかり、まず行動に移すことを決めて1か月。立上資金は自分で用意し、食材は地元の方々の寄付で賄い、ボランティアスタッフを募つて、第1回目の子ども食堂を開きました。(2016年8月、南初富口ミニユーニティセンターにて。カレー、サラダ、手品、スライム作りを行いました。)そして、終わってみるといくつかの改善点が見えてきました。



「私たちでやったことが、子ども食堂に参加してそのまま会員になつて下さった方もいました。一般社団法人鎌ヶ谷青年会議所のイベントで寄付をいたくなど、資金面、人材面、参加者数の点からも2回目は大盛況のもとに終わることができ、現在の活動の基礎ができました。

初回の食堂から2年目となる現在、「鎌ヶ谷こどもだんらん食堂」は東部学習センターにて、毎月1回定期的に開いています。

開催時にこだわっていること

「安全性と衛生面です。アレルギーを持っている子かどうか?のチェックは毎回しています。(幼稚園児は保護者同伴で参加してもらいます。)スタッフの中の栄養士さんに、食品の安全性と衛生面はチェックしてもらっています。

子ども達が調理になるべく参加しても



子どもたちの鎌ヶ谷を

「今、参加者は小学生が多いんですが、その子の年代年代に必要なことや時間などは違つてくると思うので、鎌ヶ谷で子どもを対象に活動している方々といいタチで手を組んで、子どものためのセーフティネットを敷いていけたらいいな、様々な形式の子ども食堂が増えて繋がつていけたらいいなと思います。」

お話を伺つて、御代川さんの熱意とやしさが、真剣な眼差しの中から溢れ出していました。

子ども食堂の難しさと良い面

「どういう子がきて、居場所になるという点は良いことです。半面、より助けを必要としている子には今以上に頻繁に通える場所が必要だと感じます。」



「スタッフの一人が、『私たちは微力かもしれないけど、無力ではないんだ』と言つてくれたことが心に残つている言葉です。3人の高校生がチラシを見て、『協力させて下さい』と言つてきてくれたこともそうですね。そんなこともあります。スタッフの層が厚く、高校生から70代ぐらいの人々が協力してくれています。できる時にできる人にきてもらう形で運営しています。それと食事作りのお手伝いや野菜提供、寄付を通じて人の優しさが伝わつてくることも印象に残っています。」

「うことにもこだわっています。スタッフが野菜や肉の切り方を教え、一緒に炒めたりして、子どもたちも喜んで積極的に参加できるように心がけています。どんな子でもここに来て、一緒にご飯の用意をして、食事して、楽しい時間を過ごしてほしいからです。」

特に印象に残つてること

「スタッフの一人が、『私たちは微力かもしれないけど、無力ではないんだ』と言つてくれたことが心に残つている言葉です。3人の高校生がチラシを見て、『協

力させて下さい』と言つてきてくれた

こともそうですね。そんなこともあります。

スタッフの層が厚く、高校生から70代ぐらいの人々が協力してくれています。でき

る時にできる人にきてもらう形で運営し

ています。それと食事作りのお手伝いや

野菜提供、寄付を通じて人の優しさが伝

わつてくることも印象に残っています。」

「うことにもこだわっています。スタッフ

が野菜や肉の切り方を教え、一緒に炒

めたりして、子どもたちも喜んで積極的

に参加できるように心がけています。ど

んな子でもここに来て、一緒にご飯の用

意をして、食事して、楽しい時間を過ご

してほしいからです。」

楽しく温暖化防止を学んで地球へ恩返し

エコネットかまがや



「活動の説明をするのにわかりやすい
いでしょう」と、大きなパネルを持つ
て現れた「エコネットかまがや」代表
の西川さん。「地球温暖化防止」とい
う大きなテーマに取り組んでいます。
ゴーヤのグリーンカーテン、傘の生地
でエコバックワークショップ、小学校
で環境学習を実施しています。



市の環境講座がきっかけ

エコネットかまがやは、市の環境講座
に集まつたメンバーで講座終了後に自分
たちでも何かやろうという話になり10年
前に設立しました。元々、西川さんは大
気汚染のため酸性雨が降り森が枯れるの
を防ぐため、原因である窒素酸化物を除
去する為の触媒を作る企業で働いていた
そうです。そのため知識が豊富で、「この
まま二酸化炭素が増えていくと人間の生
活が成り立たなくなる、今の地球は危な
い」と強く感じていました。

温暖化防止をキヤッチフレーズに、「地
球温暖化をしたのも人間なら元に戻すの
も人間の使命である。地球に恩返しする
つもりで、いたわりましょう。そのため
には、ひとりひとりに呼びかけて、啓発
していくことが大切である」と常に思つ
ているそうです。

具体的な活動としては、「ゴーヤカーテ
ンの普及、使わなくなつた傘から作る工
コバック作り、市内外の幼稚園・小学生
を対象に「環境学習」として牛乳パック・
ジュースパックの再利用を啓発する出前
講座を定期的に開催しています。

団体情報

エコネットかまがや

代表：西川 久雄

Tel : 047-445-2832

Mail : hisao1017@jcom.home.ne.jp

分類：市民公益活動団体

分野：環境保全

会費：1000円／年間

ゴーヤと傘でエコ活動！

まずは「ゴーヤカーテン」についてお聞きしました。部屋の温度を3~4度下げる効果があるので、クーラーの使用を抑える事ができるそうです。

「ゴーヤカーテン作りは土作りから始まります。育て方講座を5月に開き、育途中で「カーテン作り講座」、そして「ゴーヤのカーテンの「コンクール」で表彰、収穫後に「ゴーヤレシピの料理教室を開催します。美味しく味わうだけでなく、なるべくごみを出さない工夫をして料理を作るというテーマも含まれていました。チーム対抗で、出たごみの量を測り、どのチームが一番ごみを出さなかったか競争するそうです。楽しそうですね。

これら一連の流れを通して親子で参加すると、良い夏休みの自由研究になるのではないかでしょうか。

エコバッグ作りは市の助成金を利用して、ミシン3台を購入したところから始まりました。不要になった傘の布を切り縫い合わせて作ります。これはスーパーのレジ袋を減らす効果を上げることができます。ご自分の傘を使用しての「マイバック作り教室」を年に2回開催しています。この2つの取組みは、広報かまがやで参加者募集を行っているとのこと。



講座の後に子どもたちから送られてくる感想文を目にすると、また違った見方があることに気づかされ新鮮な気持ちになり、次につなげるパワーのような宝物をもらつた気持ちになります。こうした楽しみがあるから続けられていると思います。」と田を細めてお話して下さいました。

子どもたちの感想文は宝物

「環境学習」の出前講座は、県の環境学習の認定を受けました。県内の幼稚園や小学校など、市の垣根を超えた活動をしています。

牛乳パックを作るためには針葉樹を何万本も切り倒すので、環境破壊に繋がることにならないように再生紙としてごみ分別することの大切さを教えます。その後で牛乳パックを使った帽子を子どもたちと一緒に（時にはパクパク人形など）制作します。



活動を円滑に続けるために

現在、女性3名、男性10名が同会で活動していますが、イベントを円滑に続けて行くには、まだまだメンバーが足りないそうです。「自分たちが取り組んだ事で参加した方にも喜んでいただける楽しさ

とやり甲斐を多くの方に味わつてもいいたい」とおっしゃっていました。
静かな口調で淡淡と、しかし言葉には熱い思いが込められていました。インターネットを終えた西川さんの満面の笑顔が忘れられません。



どの世代も一緒に！鎌ヶ谷でペタンクを楽しもう♪

鎌ヶ谷市ペタンク協会



晴れわたった秋の空の下、体育館前にある林の木々を縫うように空いた場所を3面に区切って、練習試合が始まっている中で「鎌ヶ谷市ペタンク協会」にお話を伺いました。ペタンクとはフランス発祥の球技で、名称は南フランス・プロヴァンスの方言「ピエ・タンケ（両足を揃えて）」に由来するそうです。テラントと呼ばれるコート上に描いたサークルを基点として木製のビヨウト（田標球）に金属製のブール（ボール）を投げ合って、相手より近づけねりと得点を競つスポーツだそうです。

「鎌ヶ谷市ペタンク協会」は、5年前の2012年6月2日に設立されました。その時は6名でのスタートでした。その2年前にくぬぎ山で初めて出会った大屋さん（現・東京シニア・ペタンク倶楽部会長）から誘われてペタンクを体験し、その面白さに魅了され「地域貢献にもなるからやってみよう」と、鎌ヶ谷の三田会を中心に綾部利一さん（現・鎌ヶ谷市ペタンク協会会長）、住友史人さん（同協会事務局長）が会を作りました。当時は「鎌ヶ谷ペタンククラブ」というサークル名でしたが、「日本ペタンク・ブール連盟」「千葉ペタンク・ブール連盟」に加入した際に現在の名前に変更しました。その後、平成28年に「鎌ヶ谷市体育協会」にも加入して、ペタンク愛好の仲間が増え、現在の会員数は65名ほどになりました。

「ペタンク」ってどうやるの？

ペタンクのゲーム構造はカーリングやボッチャに似ていますが、一定の広さの土地（芝生は不可）があればプレーできるので競技コートが取りやすく、

4年間で市内65名の会員数に

団体情報

鎌ヶ谷市ペタンク協会

代表：綾部 利一（会長）

Tel : 047-443-9122

分類：市民公益活動団体

分野：学術・文化・芸術・スポーツ

会費：1000円／年間

「カーリングは目標が固定されていますが、ペタンクは目標が弾き飛ばされて位置が変化する場合もあり、どんどん返しの結果になるんですね。かなり戦略的に進められるんです。チームの中で初めて投げる人、中間、最後、と投げる方を決めるのですが、それぞれが役割をもつて、相手のゴールをどう攻めていくのか作戦を立てながら進めていきます。そこが一番おもしろいところです。」と綾部さんと住友さんに話を聞いていましたが、突然「説明を聞いていたり一緒にやつてみたほうが早いですよ」と言われるまま、私たち取材チーム2名は、3人一組のメン

実際に体験させてもらいました



金属製の専用ボールだけあればその他の費用がかかりません。さらに子どもからシルバー世代まで一緒にプレーできるなど、色々な魅力に溢れているスポーツのようです。日本のペタンク人口は40万人、フランスではなんと500万人もの人々がペタンクを楽しんでいるそうです。

大会にも活発に参加しています



「簡単なスポーツですが、奥が深いんですよ」と皆さんが言うように本当に球の投げ方ひとつをとっても、カーリングのように相手方チームの球に自分の球を当てて遠ざけるなど、戦術とテクニックが、

バーに配置され、いきなりプレーボール。ちなみに3人でプレーするのは「トリプラス（トリプレット）」といい、目標球のビュット（木製または樹脂製で着色は自由）目がけて直径5～80ミリほどの金属製のボール（ボール、650～800グラム）を各自2球ずつ放り投げ、目標球へより近づけた方が勝ちです。距離の測定はメジャーと呼ばれる専用器具で行います。

ペタンク初心者の2名に、それぞれのチームの上級者が投げ方やら点数のつけ方などを丁寧にやさしく教えて下さり、しばし取材を忘れゲームに熱中するも、ビギナーズラックも出せず、本気で悔しがるというおまけ付きでした。

小さいお子さんにもおススメ

これから抱負を伺うと「ペタンクは、競技を楽しむこと以外に、適度な運動で健康管理など自分が楽しむこともできる特性を持つたスポーツなんですよ。これ

モノをいう楽しいスポーツということがよくわかる経験でした。

「全国大会への参加を目指しているので、数々の大会に参加して他市の皆さんとの交流もありますよ。」と綾部さんと住友さんが楽しそうに話します。ちなみに大網白里の大会では3位になりました。発生の地フランスでの大会に行くツアーもあるそうです。

「小さいお子さんにもおススメ。私たちと一緒に仲間に入れていただきプレイして一番に感じたことは、いい仲間が大勢できることの喜びでした。



平成28年度 第1回鎌ヶ谷秋季オープンペタンク大会の様子

「お互い様」を大切にする有償ボランティア団体
特定非営利活動法人

鎌ヶ谷たすけあいの会



お互いが相互扶助の心と対等な立場で助け合って生きてゆく地域社会を目指すことを目的に、平成8年4月に有償ボランティア団体として誕生した「鎌ヶ谷たすけあいの会」。相互互助の心と、対等な立場で色々なサービスの交流を行いながら助け合って生きていく地域社会を目指している市民団体です。

代表の中山さん（上写真左）と、窓口担当の福田さん（上写真右）にお話を伺いました。



気軽に助け合えるグループを

貝殻山公園北口のすぐそばに、鎌ヶ谷たすけあいの会の事務所はあります。小さいけれど机・パソコン・コピー機・書類棚にはたくさんの書類。そしてミーティングスペースもある立派な事務所でした。「困ったときはお互い様。そんな気軽に助け合えるグループがあつたらいいね。作ろうか!」という雑談が発端でした。地域福祉のネットワークを全国に展開している「財団法人さわやか福祉財団」の会長である堀田力氏の研修を受け、立ち上げのノウハウを教えていただき「たすけあいの会」を発足しました。

主な「たすけあい」活動

- ①日常生活の中で困ったときに会員相互で助けあう「助け合いサービス（有償ボランティア）」
- ②介護保険認定の方・障がい者手帳をお持ちの方の外出の送迎及び介助の「移動サービス」（※会員登録が必要）
- ③介護保険法に基づく、ご自宅へのホームヘルパー訪問介護サービス 等。

団体情報

特定非営利活動法人
鎌ヶ谷たすけあいの会

代表：中山 良行（窓口：福田）

Tel : 047-444-6569

Mail : tasukeai@violet.plala.or.jp

分類：市民公益活動団体

分野：保健・医療・福祉

会費：お問い合わせ下さい



同席して下さった事務局の福田さんは、設立当初から現在までずっと会を支えてきた方です。当時は40代前半で小学生のお子さまがいましたが、事務にとどまらず、なんでもやつてきたそうです。お子さんのPTA役員活動が一段落したのをきっかけに、何かボランティアをしてみたいと探していたところ、新聞に「たすけあいの会」の募集記事がありました。

一番若かったので、無我夢中で色々な訪問先へ飛び回っていたそうです。「家族の理解があつたからやってこれた」と話す福田さんの娘さんは、人を助ける仕事に就いているそうです。

代表の中山さんは就任して6期目。入会したきっかけは、まだ仕事をしていた時に会員として利用したこと。そのときに随分とお母さまがお世話になつたため、仕事が終わつた時恩返しをしたいと強く思つたからだそうです。

色とりどりな活動のきっかけ



会報「ピープル」

「とにかくちはボランティアが先。一番最初からやつているものなので」と福田さん。依頼があればまず「たすけあいサービス」で対応し、足りない部分を介護保険サービスで補います。事務局とお手伝いの方たちが信頼関係をしつかり築いて支えあつていて。だからこそ今日まで続いているんだと力強い声でした。

会報から広がる思い出

設立当初から続いている会報の「ピープル」のバックナンバーを見せていただきました。活動の楽しさや、丁寧な報告など盛りだくさんです。1号目から順を追つて活動の説明して下さる中、「活動の節目と歴史がわかつていっていいね」と、これからお一人で思い出話を花が咲きます。活動資金を集めるためのバザーを開くため、一番最初の6畳ほどの事務所でわいわい値札つけをした事、訪問時の苦労や嬉しかった話など、どんどん出てきます。

3つのモットーが活動の中心

最後に、今後の活動についてお聞きしました。「利用者を増やしていくたいと思っています。困っている人は電話して下さい。」とのことで、たすけあいの会は

「おしきせでない・金もうけでない・ほどこしでない」をモットーに活動しています。

笑いが絶えない楽しいインタビューをさせていただきました。



鎌ヶ谷のオールデイーズ・バンド ドランカーズ



東部学習センター地下1Fには防音のスタジオがあります。厚いドアを開けると「テケテケテケ…」と、なんだか聞き覚えのあるエレキギターのフレーズが飛び出してきました。ベンチャーズの有名なギター部分です。「テケテケおじわん」と森田さんが笑顔で迎えて下さり、イフタビューを行いました。

2009年、居酒屋でたまたま出会ったメンバー。森田さんが持っていたピックをきっかけに話が盛り上がり「バンドやろうか！」とあつという間に話がまとまりました。その名も「ドランカーズ」後に総合病院の患者さんまで熱狂させるオヤジバンドが鎌ヶ谷に誕生しました。

結成9周年 「オヤジバンド」

団体情報

ドランカーズ

代表：森田 和雄

Tel : 047-443-8027

Mail : 2129210401@jcom.home.ne.jp

分類：任意団体

分野：学術・文化・芸術・スポーツ

個性あふれる仲間たち

ギターは学生の頃にかじったものの、Eコードに挫折したという鈴木さん。メンバーと出会った67才と2か月の時に本格的に始めた事になるのですが、やるといつたものの、下手な演奏でメンバーの足を引っ張ってしまうんじゃないかな、今更このトシで弾けるようになんてなるのか？と思いついた末に奥様に相談したそうです。返ってきて来たのはたった一言「オトコなりやつてみる」こうしてダジャレ好きで話すと止まらない陽気なベースマンが誕生しました。

ドラムカーネーズの公演ポスターを見て 市内各地で演奏しています！

「オレもやりたい！！仲間に入れて！」と飛び込んできた最年少の長谷さん。リードギターを担当。メンバー全員がテクニックを褒める腕前です。中学生の時「ブレインボーホールでのライブを聞きに来てくれたお客さんから「握手してもらえますか」と求められた事があったそうで「スターの気持ちがちょっとわかった」と少年のように笑っていました。

家にもドラムがあるといふ高瀬さん。中学校の時チューリップのコピーバンドとして活動を始めたそうです。高瀬さんは鎌ヶ谷第二中学校のすぐ近くで居酒屋さんを営んでおり、メンバーの集いの場にもなっています。

しかし病院の担当者の方は、「音は絞らず、シーンとやって下さい」とリクエスト。当日は天気が悪いにも関わらず150名以上の観客が集まりました。そのうち3、40名くらいは点滴してる人もいたそうですね。心配してた事は何もなく、大いに盛り上がったそうです。

「ベンチャーズのサウンドが好きなので、当時の音、それもあるべくオリジナリに近づけて再現したい。真空管のアンプじゃないと、音がでない」とかなりのこだわりをもつておられる森田さん。ベンチャーズの完璧な「テケテケ…」を再現するためにギターにこだわり、年金をつき込み、練習を重ねている「テケテケおじさん」の森田さんでした。

選曲にもかなりのこだわりがあり、「アイモンドヘッド」「ウォーク・ドント・ラン」「バイオライン」の3曲は必ず最初に演奏するそうです。日本の歌謡曲も手掛けているベンチャーズなので、「雨の御堂筋」他、数曲メニューに入れつつあります。

健康と地域貢献にむけ

これから田中等伺つてみたところ、「ひつじう年齢の人ができるといふところをみてほしいし、若い人にも聴きにきてもらつて昔だつて良い曲がたくさんあつた事を知つてほしいですね。健康と地域貢献のために活動を続けていきたいです。」と真剣な表情で森田さんが答えて下さいました。

ライブが迫つてくると、東部学習センターのレインボーホールで公開練習をするので、どうぞ気軽に入つて下さいとのこと。ドラムカーネーズのみなさんと一緒にベンチャーズの曲を楽しみましょう！



鎌ヶ谷総合病院での演奏の様子

「傾聴」を通して心のケアを行います シニア・ピア

・なごみ



震災にて被災された方のケアとしても「傾聴」は広く報道されましたが、今回は会長の鈴木さん（上写真右）と、広報委員長の渡邊さん（上写真左）に、「傾聴」についてエピソードを交えながらお話をいただきました。

渡邊さんは、母親の介護で新潟のホームに通っていた当時、お子さんが3人いたので「ここに来るより自分の家の近所でなにかやってあげなさい。」と母親に言われたそうです。その頃、よく一緒に話をしていた、家の近所に住む、母親と同年代の方が2か月会わない間に渡邊さんの顔を認知することが難しくなつてしまっていました。「おばちゃん、わかる?」と話しかけると、帰る時にはだんだん思ひだしてくる様子を見て、話し相手といふのはとても大切なんだなど感じたそうです。

そんな思いをしたとき、広報を見て渡邊さんも養成講座に参加しました。そして、人の話を聞くことの難しさも実感されたそうです。

鎌ヶ谷市内で15年間「傾聴ボランティア活動」をしている「シニア・ピア・なごみ」。

会員45名で市内の老人福祉施設6か所・個人宅18軒を定期的に訪問し、高齢者の方が少しでも明るく元気に暮らすための心のケアを行っています。

それぞれの「傾聴」との出会い

会長の鈴木さんは15年前「傾聴」の文字に惹かれ、傾聴養成講座に1期生として入りました。その時から鈴木さんの傾聴活動が始まりました。今では10年程訪問している個人の方もいらっしゃるそうです。

団体情報

シニア・ピア・なごみ

代表：鈴木 和子

Tel : 047-419-8048

Mail : torako-suzuko@nifty.com

分類：市民公益活動団体

分野：保健・医療・福祉

会費：1000円／年間

傾聴活動をする前の「養成講座」

シニア・ピア・なごみでは、傾聴活動の前に必ず「養成講座」を受講することとなっています。

というのも、傾聴は「聴く（意識して聴く）」と「聞く（意識せず何となく聞く）」の違いを身をもつて知ることから始まるからです。ひたすら相手の話を聞いていくことで、大切なのは「相手の気持ちであって、自分の気持ちではない」ということだとお話ししていました。

相手の話を聴く時は、まず自分の心を開いていくこと。相手の話を全部受け止めしていくうちに信頼関係ができます。初めての方に対しても緊張をほぐすような会話から入っていくなど、多くのスキルを学んだのちに、実際の傾聴活動を行うことができるのです。同時に、活動する上で非常大切な、守秘義務に関しても学びます。

活動のエピソード

傾聴活動は、ご家族の希望があれば個人宅へも出かけますが、まずは地域包括支援センター・ボランティアセンターなどへ出向きます。またはケアマネジャーから連絡がきて、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・サービス付き高齢者向け住宅等で活動するそうです。

人によっては1時間くらい一人でお話する方も。認知症の方や、お年の方も多いので筆談や、手を握っているだけの時もあります。

「長年傾聴をしてきた方で、ハキハキとお話はなさつてもご家族とか踏み込んだお話はなさうなつた方が初めてご自身の体調のことを話されて、『こんなこと話したのははじめてよ。』と言つて下せり、さらに一步受け入れてもらえた、信頼して下されたことがうれしかったですね。」とは鈴木さんのお話。



これからのこと

老人の孤独死が増えて社会的な問題になっています。共有する居場所を作り、「傾聴」の機会を持つことが孤独死などの状況を防ぐ鍵になるなら、興味をもつて下さる方からボランティアへとつなげる

傾聴講座を増やしていくたい、とのこと。「傾聴に関する団体や個人がもっと増えて、お互い勉強しあい、情報共有していく」とお話しして下さるお二人の穏やかな声が印象的でした。



福祉フェアでの出展の様子

まち歩きを通して居場所づくり ぶらり鎌ヶ谷



「地域とのつながりや、人との関わりはすぐにできるものではない。特に男性は職場と家の往復だけという方が多いので、まずは住んでいる地域の事を知り、自分が生き生きできる居場所を見つけるきっかけになればと活動しています。」

10年前、ボランティア活動を活性化するため、ボランティアセンターと市の申し出もあり、当初7名のメンバーが集まり、一番若いからとの理由で上開地さんが代表となつた「ぶらり鎌ヶ谷」。当初のメンバーはほとんどが女性で男性は少なかったそうです。

それでも、上開地さんは男性という立場から、男性会員を多く募つたそうです。



男性にこそ、来てほしい！

「鎌ヶ谷から都心などに働きに行き、家には寝に帰るだけの働く世代は、ほとんど地元を知らない。会社を定年で辞めても、自分の居場所を見つけにくい。そのような人々に鎌ヶ谷を知つてもらいたい。そのうえでやりたいことをやってもらう。やりたいことを見つけるきっかけになれば、それでこの会は良いと思います。」と、上開地さんは穏やかに話して下さいました。

団体情報
ふらり鎌ヶ谷
代表：上開地 真理男
Tel : 047-445-7868
分類：市民公益活動団体
分野：保健・医療・福祉 /
社会教育 / まちづくり /
学術・文化・芸術・スポーツ
会費：1000円 / 年間

入会したのも何かの縁だから、この会とつながってくれていれば良いという趣旨の元、退会規定もなく、あえてゆるい会則にしているとのことでした。23～24名のメンバーのうち、ほとんどの会員が他団体にも所属しています。専属で活動しているのは6名とのこと。鎌ヶ谷での居場所づくりになってくれれば、と思っているので活動場所もあえて鎌ヶ谷市内に特化しています。

意外と知らない鎌ヶ谷のこと

会計担当である入会4年目の井上さん（写真左）はこう話します。

「鎌ヶ谷を再発見したい。鎌ヶ谷の産業は何かという問いに答えられる人は少ないでしょ？」と。

例えば…と、その場にいた私たちも考えました。「山屋食品」さん、「私市醸造」さん、「トオカツフーズ」さん等々、確かに食品工場が多いことに気づきました。

「ケーキ屋さんもたくさんあるんだよ。」これにも「確かに！」との場で盛り上がりました。



コラボもしていきたい！

これからはもっと他団体さんとのコラボを目指していくたいと思つていらっしゃるそうです。例えば「鎌ヶ谷災害救援ボランティアネットワーク」さんとコラボしてまち歩きをした時の事です。

「自分がどこを歩いているのかわからなくなつたら、自動販売機を探し下さい。なんとそこに住所が書いてあります。病人を見つけて救急車に出動要請する時など、役立つかもしれません。」といった内容を盛り込むことができました。

このように、災害救援ボランティアネットワークさんは災害に備える、災害時に役立つことを知っています。対してぶらり鎌ヶ谷は鎌ヶ谷を知っている。コラボを組めば倍以上の効果が生まれそうですね。

定例会は毎月2回、街歩きなどのイベントは年に2回です。（イベントは広報かまがやで募集します。）

活動から居場所を見つけて

最後に「私たちは、まち歩きが目標ではありません。もっと鎌ヶ谷を知つてもらいたい、できれば自分の居場所を見つけてもらいたい、そのためぶらり鎌ヶ谷があると思っています。定年で退職してからというよりは若い時から少しづつ地域と関わり、仲間を作つていけるといつ思いますよ。」と、結びのメッセージをいただきました。



青年団体が地域社会とつながる場

一般社団法人

鎌ヶ谷青年会議所



一般社団法人鎌ヶ谷青年会議所は、明るい豊かな社会の築くために、また、より良い鎌ヶ谷の「まちづくり」、「ひどづくり」を目指すために、40歳以下の青年経済人で組織された団体です。鎌ヶ谷青年会議所は創立してから42年の歴史があります。

今回は青年会議所監事・2018年度理事長の竹内直人さんにインタビューを行いました。

「国際性を身につけながら、これから社会の担い手である青少年の方々と一緒に、鎌ヶ谷の未来を創っていこう」という思いと、子ども時代に遊びの中で感じたワクワク感も忘れずに行こう!という思いを表現したかったので、一年間掛けて、英語の先生にも相談して出来上がりました。」と、竹内さん。

学び、一步目を踏み出す場

会員はこの団体に所属して、知識・見識を学び高め地域社会にフィードバックすることを目標にしています。また、集めた会費の中から算出しているいろいろな事業を計画しています。過去に

一年かけたスローガン

「Create The Future」

「ワクワクする未来を共に創造しよう」これが竹内さんの掲げたスローガンです。（青年会議所の理事長は、就任時に一年間の目標になるスローガンを考えるということが代々のしきたりになっているそうです。）

団体情報

一般社団法人
鎌ヶ谷青年会議所
代表：竹内 直人
Mail : info@kamagayajc.com
分類：市民公益活動団体
分野：社会教育 / まちづくり / 災害救援 / 地域安全 / 子ども / 経済活動
会費：90,000 円 / 年間

開催したイベントは「かまがやの花火」「KAMA-1 グランプリ」等々…皆さんもよく存知のイベントの名前が挙がりました。

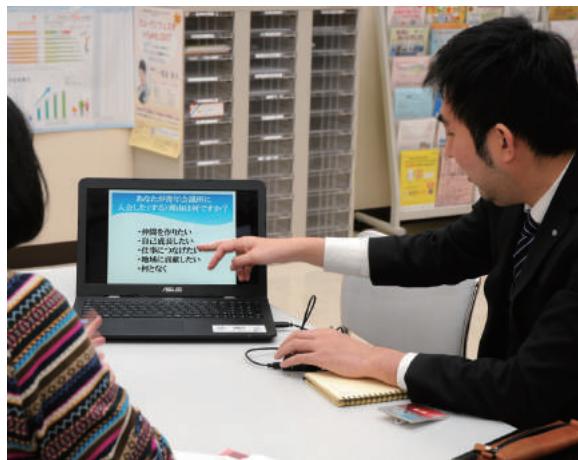
鎌ヶ谷市市民活動団体の紹介

竹内さんと青年会議所の出会い

竹内さんは、小・中・高校生の時まで鎌ヶ谷市の親元で暮らしていましたが、何か物足りなさを感じ東京の大学へ進学、一人暮らしを始めました。都会に何か自分が満足するものがあるに違ないという思いをずっと持っていたそうです。そのまま就職しましたが、自分が描いていたイメージとはかけ離れた現実に行き詰まりを感じ会社を辞めました。2006年鎌ヶ谷に帰ってきたものの、5年間は将来を模索しながらアルバイト等をし、その間にスキルを積んでIT関係の会社を設立。東京へ行った経験を活かして地方の企業をより良くしたいというのが自身の目標となり、32歳の時JCI（青年会議所）に入会しました。

「学生時代 鎌ヶ谷には魅力的なものは何もないと思って外に出たのに、地元に帰ってきて地域の人々との交流を重ね、鎌ヶ谷が大好きになつたこと、また海外でJCIの活動をしている方々との関わりなどを通して自分の住んでいる地元への意識が高まり、更に好きになつたことが不思議ですね。」と若々しい笑顔で話して下さいました。

メンバーの総意をもつて事業をやっていくので、大きなことはできないけれど、すでに方針は作ってあるそうで、人が集まるような仕掛けを考えているようです。また、「1を10にするのは、例えば誰かに協力してもらつたらできたりするとと思いますが、0を1にするところが、我々がやるべき事だと思います。動こうという意思がある人もいるし、また意思があつても何をすればいいのかわからない人もいるので、まず一步目を踏み出すきっかけづくりというところが第一弾だと思っています。」と、力強い口調で語って下さいました。



竹内さんの感じの「やるべき事」

青年会議所では、お仕事をしている皆さんのが集まって会合を開くのは午後9時からなので、ご家族の協力や理解が必要ですし、自身の責任感にかかっているところが多いため、一緒に活動しているメンバーには感謝の思いを欠かさないそうです。



竹内さんと青年会議所の出会い

オンラインピックどつなげない

これから田標としては、東京オリンピックが開かれる2020年に向かって伸びている、海外からの観光客などを抱える「成田空港」というツールを最大限に活かして、地元千葉県という観点から

国際性を重視した事業を考えて実行することだそうです。お話しの中から、地方の企業をよくしたりという強い思いが伝わってきました。

鎌ヶ谷市 の施設を利用してみよう!

START



＼コミュニティセンターの場合はこちら／



①

利用日の2か月前から先着順で予約できます。



②



☆【コミュニティセンター】利用当日まで
【公民館を含む学習施設】利用日一週間前まで

＼公民館を含む学習施設の場合／



①



②

利用日の2か月前から予約できます。
予約方法については、各館にご確認下さい。



③

あめでとう! ここで施設が便まる!



GOAL

施設一覧【コミュニティセンター】

施設名	住所	電話
くぬぎ山コミュニティセンター (児童センター・図書館西部分館併設)	くぬぎ山4-2-46-10	047-389-1401
北中沢コミュニティセンター (児童センター併設)	北中沢2-1-23	047-442-2011
栗野コミュニティセンター (児童センター・子育て支援センター併設)	栗野79-1	047-441-7066
鎌ヶ谷コミュニティセンター	鎌ヶ谷1-6-8	047-444-4293
南初富コミュニティセンター	東初富4-1-25	047-444-4292
道野辺中央コミュニティセンター	道野辺中央2-6-27	047-445-6203

施設一覧【公民館等】

施設名	住所	連絡先
生涯学習推進センター(まなびいプラザ)	富岡2-6-1	047-446-1111
東部学習センター	東道野辺4-9-50	047-441-0211
北部公民館	佐津町631	047-446-1076
南部公民館	道野辺61	047-446-3031
東初富公民館	東初富1-10-1	047-446-5555
福太郎アーナ	初富690-3	047-444-8585
福太郎スクアーム	初富924-283	047-444-8585
福太郎野球場	初富924-6(市制記念公園内)	047-444-8585
福太郎テニスコート	初富924-6(市制記念公園内)	047-444-8585
東初富少年野球場	初富806-15	047-444-8585
東初富テニスコート	東初富1-808-28	047-444-8585
中央公民館	富岡1-1-3	047-445-2012
きらり鎌ヶ谷市民会館	富岡1-1-3	047-445-3877

※体育施設の利用方法は一部異なりますので、詳しくは直接お問い合わせください。



駐車場は9台分と広々使えます

●施設情報

開館時間：9時～17時

- ・夜間利用がある場合は22時まで
- ・二か月前から申込可

利用料金：部屋ごとに異なります

多目的ルーム・1時間 400円

創作室・1時間 200円

和室(1, 2)・1時間各 100円

施設利用に関しては「まだまだ空いている時間帯がありますので団体さんに利用をしていただきたい。現在使っている人の年代はリタイアして自由な時間のあるシルバー世代が多いので、元気なお年寄りにもっと利用してほしい」とのこと。

今年になって、駐車場が9台分確保できましたが、トイレの洋式化も進めています。また、「公益社団法人鎌ヶ谷市シルバー人材センター」の管理下で清掃が行き届き、きれいになり、気持ちよく使えるとの評判です。

リニューアルが進んでいます

この施設は今、定期的に30団体、不定期に13団体が利用しています。また、年間8団体が市の関連行事で使うことがあります。それ以外では「南初富連合自治会」「東武鎌ヶ谷自治会」が中心になつて行う交流事業で使われています。毎年2月の第1日曜日に、交流事業運営委員会が主催してお祭りを開きます。今年度は2月4日(日)になります。豆まきがメインで、鎌ヶ谷のマスクコットキャラクター「かまたん」が豆入りの袋を来た人に配る予定です。

2月には豆まきイベントも

この施設は、事務所の窓口を飾る一輪挿しの花瓶の季節の草花でも光っていました。

こうしたことから、この施設は近隣の方々からの理解や協力も得られて、人びとの活動のための場所としての役割を果たしています。

心遣いが居心地の良さの秘訣**利用方法**

開館時間・料金は左図の通り。2人以上なら団体として申込ができる、通常利用(9時～17時)の場合は当日申請でも可、夜間利用(17時～22時)の場合は7日前までに申請しておくと夜10時まで使用可能です。但し、事前登録が必要です。

桜の木が見事な川慈公園の一画にある「会議室」で地区自治会と単位自治会（＝地域の個々の自治会のこと）両方の会長をなさっている本間さんにインタビューをさせていただきました。



鎌ヶ谷自治連合会

小規模だからこそ、暖かい自治会



笑顔で語る本間さん

鎌ヶ谷自治連合会では、自主防災・防犯活動や盆踊り大会、敬老会他、多様なイベントも開催しています。例えばソフトボール大会をやりたくても、単位自治会だと人数の問題で難しい事もありますが、地区自治会（ここでは鎌ヶ谷自治連合会のこと）だと自治会チーム対抗で盛り上がります。試合の後は芋煮会で懇親を深めます。絆づくりのイベントは大切だと本間さんは繰り返します。食べ物や飲み物があり、楽しいことがポイントだそうです。

「絆」を大切にする連合会

「鎌ヶ谷自治連合会」は9つの自治会で構成され、1278世帯（2017年4月1日現在）が加入しています。今回取材した「会議室」は丸山自治会と共同利用の場所。なんと役員さんや住民の方の手作りの建物です。

本間さんの「想ひ」

会社を定年で辞めたときに社会に貢献したいと思い、地域に積極的に関わってきた本間さん。「皆さんのが喜ぶ顔をみられるのが楽しくて仕方ない。だから次々新しい企画を考えています」と本当に楽しそうにお話して下さるので、こちらもワクワクしてきました。一番身近で、参加しやすい地縁型組織である自治会の在り方をもう一度考えてみたくなるようなお話をありがとうございました。



防災倉庫も見せていただきました

●鎌ヶ谷自治連合会とは? ●

17年続く「自主防災」

近隣自治会と合同で実施する自主防災訓練は17年続けています。小さじ自治会でしっかりと住民がつながっているからこそ、合同で大きいことをするときにその絆が活きてくる。田舎から顔が見える近所付き合いをしているからこそ、頼りになると本間さんは考へています。



鎌ヶ谷市役所・ 市民活動推進課

●市民活動推進課とは?●

所属は市民生活部。
地域振興係・男女共同参画室・市民活動推進係に分かれ、それぞれの役割を担っている。具体的な業務内容としては、自治会の支援や「かまがや市民まつり」事務局・男女共同参画の意識の啓発・市民活動団体のサポートなど。

出発点は「市民活動とは何ぞや」

市役所勤務7年目になる菊池さん。最初の3年間は都市計画課に所属、その後現在の市民活動推進課に移りました。最初の頃は、「市民活動とは何ぞや」というところからの出発でした。窓口に来る市民の方のほうがよく知っているのに、相談を受けたり質問に答えるのが大変だったので、一年間は一生懸命勉強したそうです。しかし、その内に経験を積み、自分の中で知識も得られ他市の事例もわかるようになり、様々な相談・質問に対応できるようになったとのこと。

「市民活動の支援」とは

市民活動の支援には、例えば新たに地域活動を始めたい方や、地域と関わっていきたい方を団体に紹介することも含まれます。そうした中で様々なコミュニティが増えて、人々の居場所ができ、そのコミュニティが地域のために何かをしていくことで、地域活性化が進んでいく：つまり地域のために何かをしていく団体が増えていくほど、その地域は活性化していく：ということが言えます。協働の推進も、地域活性化に繋がっていくことが大切だと話します。

印象に残っています

菊池さんがこの1年間で印象に残つていることを語ってくれました。それは、市が毎年行っている「地域づくりコーディネーター養成講座」から実際にコーディネーターとして活動する人達が生まれ、活動を始めたこと。地域の団体紹介・交流が目的の団体のPR小冊子を地域に住む人自らが作ってくれたこともとても嬉しいと話してくれました。



カウンターで温かく迎えてくれました

「行政側が市民の方々と関係性を作つていくのは難しいことですが、年月をかけてじっくり互いの思いを話し合う中で、たくさんの方々と関係性を構築できたことが一番良かったことです。」と菊池さんは満面の笑みで答えてくれました。



電話応対中…。



文・鎌ヶ谷市プロジェクトマネージャー
影山 貴大



2015年より鎌ヶ谷市プロジェクトマネージャーに着任し、市民活動・まちづくりの専門家として鎌ヶ谷市市民活動推進センターにて相談業務等に従事しています。ありがたいことに2016年より鎌ヶ谷市役所内にて全庁紹介もされ、所属している市民活動推進課以外の課の事業のアドバイス等にも積極的に関わらせていただいている。その街に住む人たちと一緒に作り上げていくまちづくりを大切に日々業務に勤しんでいます。

地域活性化は「副産物」?

皆さんは人とのつながりがもつ力を感じたことはありますか?

昨今よく耳にする、地域活性化や地方創生といった言葉。なんとなく、地域を元気にする取り組みをしたり、地域経済を活性化させたり…といったことが思い浮かぶかもしれません。実際に、そういう取り組みが各地域で試行錯誤され一定

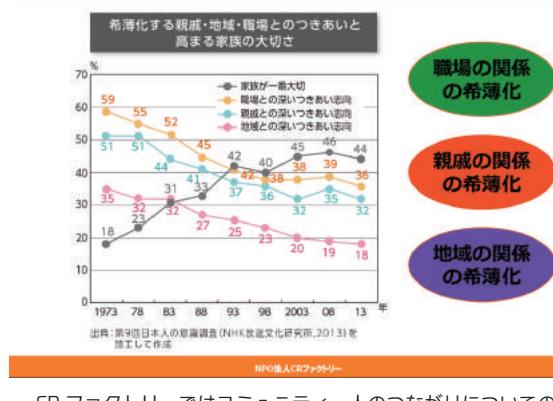
の成果を出した取り組みがピックアップされることにより、「わが街も」と名市町村が徐々に動き出しています。確かに地域が活気を取り戻したり、財政が豊かになることは良いことでしよう。しかし、それが地域活性化や地方創生といわれる取り組みの最終的なゴールで良いのでしょうか?私は今出ている地域での成果は、ある状態が生まれた結果の副産物なのではないかと感じています。それが“人とのつながり”です。

幸福と関係するワニニティ

言われてみれば当たり前のようには思える一方で、実際に人とのつながりがどれだけ我々の人生に影響を及ぼしているか私たちはあまり知りません。ですが、実は昨今の研究では人とのつながりの持つ力が少しずつ明らかになってきております。例えば、健康に関する事で言えば、社会的に孤立している人は死亡率が高かつたり、人とのつながりが最も寿命に影響をもたらしたりするそうです。それ以外にも「幸福」に関しては、信頼できる人がいればその人の幸福度が高まり、逆に幸福度が高い人は人を信頼していたり、何かしらの「ミニユーティを持つ人の方が幸福度が高い」という研究データも出ているようです。

社会的孤立度の高い国

このように人生そのものにも大きな影響をもたらす人とのつながりですが、現状の日本ではそのつながりの希薄化が一



CRファクトリーではコミュニティ・人のつながりについての取り組みや研究がされています

この他にも人とのつながりに関する様々な研究データが出てきていますが、鎌ヶ谷市にも関わっています。NPO法人CRファクトリーが出されている「ミユーニティ白書2016」という冊子に上記の詳細なデータも含めまとまっていますので、ご興味のある方は是非手に取ってみて下さい。

鎌ヶ谷市と連携した講座

そんな中、今鎌ヶ谷市で例年取り組んでいる「地域づくりコーディネーター養成講座」という人材育成の講座があります。これは地域の中で人と人、組織と

一番の社会課題といつても良いのかかもしれません。実際、日本人の社会的孤立度はOECD諸国（先進国35か国）によって構成される経済開発協力機構）の中で最も高くなってしまっています。（出典：世界価値観調査2005）

この「つながりと活性化」に協働（多様な主体が一緒になって課題に取り組むこと）していくよう、その間に立つて仲介する役目である「コーディネーター」と呼ばれる人材を育成する講座です。実は上記で紹介したNPO法人CRファクトリーに講座の企画運営を担っていただき、市と連携して実施しているのですが、こういった人と人を繋ぎ合わせる中間支援を行う人材が今地域…いえ、地域だけではなく県や国単位でも必要になってきていたのだと私は確信しています。

つながりと活性化

この「つながりと活性化」は、地域活性化や地方創生の成功事例は地域の中での人とのつながりが生まれた中で起こりえた成績なのではないでしょうか？まちづくりは行政の仕事、NPO活動やボランティアは余力がある人がやれば良い、そういった一部の人達だけで地域や社会を創りあげていくのではなく地域や社会に関わる人たちが少しずつつながりあい、そのつながりの中から生まれてくる成果こそが本当の意味で活性化しているということではないでしょうか？

読者の皆さんに問い合わせることが多いコラムとなってしましましたが正解は誰にも、もちろん私にもわかりません。ですが、この鎌ヶ谷で人とのつながりが増えていったとき、「どんなことが起こつていくのかを見てみたいと私は心から思っています。日本で一番人とのつながりがある街、鎌ヶ谷市がそんな街になつたらとても面白いことが起きそうですね。



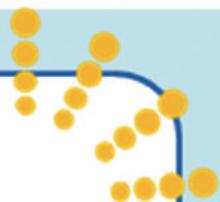
地域づくりコーディネーター養成講座の様子

かまラボがあ手伝いできること

※ 正式名称は 鎌ヶ谷マネジメントラボです。長いので「かまラボ」で覚えてください！

これから何かはじめたい人には・・・

- 子育て中だけど、何か始めたいな
- 働いているから土日しか地元にいないけど、地域と関わりたい
- ゆっくりできる時間がとれるようになったので、何か地域で動きたい
- 団体(又はサークル)を作りたいけど、何から手を付ければいいの？
- アイデアが浮かんだんだけど、これをカタチにするにはどうしたらいいの？
- イベントをやりたいけど、自分たちだけでやるには自信がなくて・・・



私たちが持っている情報をお伝えします！はじめの一歩を踏み出しましょう！

すでに活動をしている人には・・・

- SNSで情報発信したいけど、わかる人が周りにいなくて・・・
- 事務局を作りたいけど、人手が足りないし、どこから準備すればいいの？

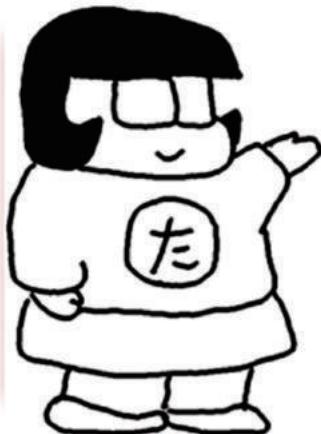


自団体でできるよう、お手伝いします！

- 考える事が何かモヤっとあるんだけど、うまく人に説明できない
- 何かあたらしい事をはじめたいけど、大変そうで結局いつも通り・・・
- 一人で抱えこんじやって、ちょっと疲れ気味・・・
- 会員が思うように集まらない。何かよい手段はないかなあ



とりあえずお話しませんか？ 頭の中が整理されてくるかもしれませんよ！



【中間支援組織】の
かまラボに
ご相談下さい

かまラボ公認キャラ カマラボン



編集後記



今回、小冊子作りに参加することで、編集会議・団体インタビューなど各団体の方々との出会いがあり、それぞれの団体が各分野にわたり活発な動きをしていることに感動しました。こうした経験を活かして、団体間のネットワークを紡いでいくことが中間支援団体としてのかまラボの役割だと実感しております。

二瓶 純子

この冊子を作るにあたり、市の方を始め、協力して下さった団体の方々、共に動いてくれた仲間には感謝しかありません。インタビューを通して活動への思いに触れ、たくさんの方とお知り合いになれたことも嬉しいです。2号以降も進化しながら発行していくだけよう、皆様応援して下さい！よろしくお願ひします！

甲斐 貴子

この冊子を作るにあたり、市の方を

始め、協力して下さった団体の方々、

共に動いてくれた仲間には感謝しかあ

りません。インタビューを通して活動

への思いに触れ、たくさんの方とお知

り合いになれたことも嬉しいです。2

号以降も進化しながら発行していくだ

けよう、皆様応援して下さい！よろ

しくお願ひします！



冊子を1から組むのは初めてな上に、鎌ヶ谷のこととまだまだ知らなかつた為とても緊張しながら・手探りの製作で、鎌ヶ谷の皆さんにお力添えいただいたお陰でなんとか完成しました。鎌ヶ谷の人々の思いの詰まった冊子になっています。この冊子が、何度も読み返されるようなものとなれば嬉しいです。

大石 栄菜



小冊子、「ああ、あれね！」読んでいる方の立場としては大体こんな感じ、よゆーよゆー、と捕らえてました。いざ作るほうに関わると、何をどうすればよいのやら…ともあれ鎌ヶ谷市、こんなにいろいろやつてますよ！何かの形で、皆様とつながる手助けになればと思います。ありがとうございます。

甲斐 聰



- ・この冊子についてのお問い合わせ
- ・活動についてのご相談は

鎌ヶ谷マネジメントラボ
kamalabo.info@gmail.com
080-4200-4780

までお願いします。

今回初めての官民協働による市民活動団体紹介冊子作成ということで私も非常に楽しみにしていました。各団体にしっかりとヒアリングを行い、一つ一つの団体に関わる方の思いを丁寧にまとめていく、そんなプロセスを大切に創り上げました。協働だからこそ創り上げることができたこの冊子、是非ご堪能下さい。

渡部 克弘

今回、市民活動の冊子を作ると聞いて「絶好の機会をいただいた」と、喜んでお手伝いすることになりました。出版編集経験者として、ただひとつ心配だったのは、記事執筆と編集作業の時間でしたが、そんな僕の心配は杞憂にすぎませんでした。だって、こんなに素晴らしい冊子が完成したのですからね。

冊子作成・ワークショップに ご協力いただいた皆さま（敬称略）

鎌ヶ谷こどもだんらん食堂 / エコネットかまがや / 鎌ヶ谷市ペタソク協会 /

特定非営利活動法人鎌ヶ谷たすけあいの会 / ドラフカーズ / シニア・ピア・なごみ /

ぶらり鎌ヶ谷 / 一般社団法人 鎌ヶ谷青年会議所 / 鎌ヶ谷自治連合会 /

印西ウエットランドガイド 鎌ヶ谷 / 特定非営利活動法人 カナリヤ元気 /

鎌ヶ谷車いす点検整備ボランティアの会 / 鎌ヶ谷災害救援ボランティアネットワーク /

鎌ヶ谷生涯学習推進連絡会 / かまがや福祉レクリエーション協会 / 鼓調連 /

フローティア未来 2025/ 歴史たんぽ



鎌ヶ谷市 市民活動紹介冊子「Gaya」創刊号 2018/1/28

発行：鎌ヶ谷マネジメントラボ 鎌ヶ谷市

*この冊子は平成 29 年度 鎌ヶ谷市市民活動支援補助金の助成を受けて作製しています。